



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社歯愛メディカル 上場取引所 東
 コード番号 3540 URL http://ci-medical.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 清人
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 亀田 登 TEL 076-278-8802
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	12,681	—	967	—	993	—	701	—
29年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 616百万円 (—%) 29年12月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	70.17	—
29年12月期第2四半期	—	—

(注) 1. 当社は平成29年12月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年第2四半期の数値及び平成30年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	11,355	8,888	78.3
29年12月期	10,705	8,425	78.7

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 8,888百万円 29年12月期 8,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	15.30	15.30
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,441	11.4	2,488	19.8	2,528	17.0	1,703	10.7	170.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期2Q	10,000,000株	29年12月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	－株	29年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期2Q	10,000,000株	29年12月期2Q	－株

(注) 当社は、平成29年度12月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年12月期第2四半期における期中平均株式数(四半期累計)を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信（添付資料）3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、前第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国の保護主義的な通商政策による欧州や中国との貿易摩擦に対する懸念が強まるなど、欧米主要国での政治・政策リスク等にさらされながらも、全体として回復基調を維持いたしました。日本経済においては、企業収益が堅調に推移するとともに、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような経済状況の中、歯科関連業界におきましては、歯科医療費が引き続き増加傾向にあるなど、国内歯科関連業界全体の事業環境は緩やかな回復が見られるものの、歯科医療のデジタル化が一層進展する等、企業間の技術、商品、サービス等をめぐる競争が激しさを増しております。当社の主たる事業である歯科医院・歯科技工所向け通信販売事業におきましても、原材料価格の高騰、同業者との価格競争、大手運送会社からの値上げ要請、人材の確保などが経営課題となっております。

当社は、平成28年6月17日東京証券取引所 TOKYO PRO Market市場へ上場(平成29年12月17日上場廃止)、平成29年12月18日東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)市場へ上場を果たし、その結果社会的信用力等が向上し、多くの新規取引先増加に繋がっております。

当社グループにつきましては主力の通信販売事業を中心に、新商品の販売及び個人医院・総合病院等の医科業界への参入拡大を進め、大型医療機器(デジタルレントゲン医療機器等)の販売に注力しております。また、当連結会計年度より、調剤薬局向けのジェネリック医薬品販売事業を開始し販売拡大を行っております。その他の事業については、CAD/CAM歯科技工物製作事業、デンタルマガジン出版事業、歯科医院等の医療機関取引先向け電力小売取次事業「C i 電たる」等においても業績は順調に推移いたしました。

第2四半期を終えて、北陸地方においては記録的な大雪になり、一時的に出荷・入荷が困難となる事態も発生しましたが、多くのお取引先様等の支えにより乗り越えることが出来ました。また、大手運送会社による配送料値上げによる影響が懸念されていましたが、当社グループは以前から各運送会社との間で友好的な関係を構築してきたことにより、一定の条件で互いに歩み寄ることができております。一方で新規事業分野参入に伴う拠点・インフラ整備及び大型医療機器販売等の販売拡大のため積極的に採用活動を進めております。

以上のような背景のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は126億81百万円、営業利益は9億67百万円、経常利益は9億93百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4億40百万円増加(5.1%増)し90億48百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が2億16百万円増加したこと及び現金及び預金が1億66百万円増加したこと等によるものであります。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2億9百万円増加(10.0%増)し23億7百万円となりました。これは主として、投資有価証券が77百万円増加したこと及び無形固定資産その他が75百万円増加したこと等によるものであります。

③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1億82百万円増加(9.6%増)し20億76百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が1億23百万円、未払金が1億12百万円増加した一方で、未払法人税等が93百万円減少したこと等によるものであります。

④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ5百万円増加(1.3%増)し3億90百万円となりました。これは預り保証金が5百万円増加したことによるものであります。

⑤ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4億63百万円増加(5.5%増)し88億88百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益が7億1百万円増加した一方で、剰余金の配当1億53百万円及びその他有価証券評価差額金85百万円が減少したことによるものであります。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、16億28百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は5億48百万円となりました。これは主に、売上債権が2億16百万円増加した一方で、税金等調整前四半期純利益を9億93百万、減価償却費を1億0百万円計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は2億24百万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入1億20百万円により資金が増加した一方で、有形及び無形固定資産の取得による支出1億45百万円及び投資有価証券の取得による支出1億99百万円により資金が減少したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1億53百万円となりました。これは、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成30年2月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,461,840	1,628,746
受取手形及び売掛金	1,363,563	1,579,873
商品及び製品	4,195,980	4,212,766
原材料及び貯蔵品	12,302	13,850
前渡金	546,555	485,050
未収入金	857,462	963,566
繰延税金資産	130,577	129,378
その他	56,221	53,408
貸倒引当金	△17,372	△18,543
流動資産合計	8,607,131	9,048,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	663,713	660,216
機械装置及び運搬具（純額）	489,486	451,205
土地	473,511	485,210
その他（純額）	49,903	76,400
有形固定資産合計	1,676,615	1,673,032
無形固定資産		
ソフトウェア	85,893	101,315
その他	4,709	80,560
無形固定資産合計	90,603	181,875
投資その他の資産		
投資有価証券	274,667	351,928
繰延税金資産	23,182	67,862
その他	33,130	33,297
貸倒引当金	△135	△183
投資その他の資産合計	330,844	452,905
固定資産合計	2,098,063	2,307,813
資産合計	10,705,195	11,355,911

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	860,064	983,968
未払金	487,996	600,906
未払法人税等	375,886	282,761
賞与引当金	5,580	8,966
その他	164,690	200,145
流動負債合計	1,894,218	2,076,748
固定負債		
預り保証金	385,680	390,840
固定負債合計	385,680	390,840
負債合計	2,279,898	2,467,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金	8,453,283	9,002,014
株主資本合計	8,463,283	9,012,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△37,986	△123,690
その他の包括利益累計額合計	△37,986	△123,690
純資産合計	8,425,296	8,888,323
負債純資産合計	10,705,195	11,355,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	12,681,753
売上原価	9,329,269
売上総利益	3,352,483
販売費及び一般管理費	2,385,273
営業利益	967,210
営業外収益	
受取利息	18,239
補助金収入	9,128
その他	12,414
営業外収益合計	39,781
営業外費用	
為替差損	12,858
その他	245
営業外費用合計	13,103
経常利益	993,888
税金等調整前四半期純利益	993,888
法人税、住民税及び事業税	290,975
法人税等調整額	1,182
法人税等合計	292,158
四半期純利益	701,730
親会社株主に帰属する四半期純利益	701,730

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	701,730
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△85,703
その他の包括利益合計	△85,703
四半期包括利益	616,026
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	616,026

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	993,888
減価償却費	100,390
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,386
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,218
受取利息及び受取配当金	△18,240
為替差損益(△は益)	3,618
売上債権の増減額(△は増加)	△216,310
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,333
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△158,229
仕入債務の増減額(△は減少)	123,904
その他の流動負債の増減額(△は減少)	105,380
その他	3,458
小計	924,132
利息及び配当金の受取額	8,195
法人税等の支払額	△384,100
営業活動によるキャッシュ・フロー	548,226
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△145,039
投資有価証券の取得による支出	△199,260
投資有価証券の売却による収入	120,186
その他	△601
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224,714
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△153,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△153,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,606
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	166,905
現金及び現金同等物の期首残高	1,461,840
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,628,746

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、主に歯科関連商品を扱う通信販売事業を中心とした事業活動を展開する単一セグメントであるため、記載を省略しております。